

2025

5.14 (水) 12:10  
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

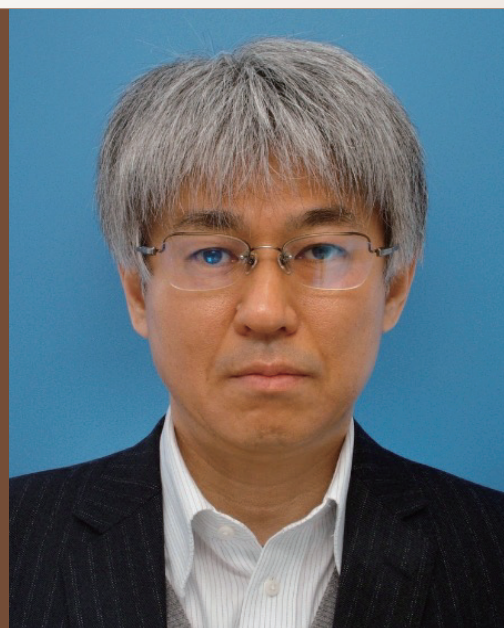
オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_IX6ubKe8QSyUZV1dMn7FNA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_IX6ubKe8QSyUZV1dMn7FNA)

【技術支援】九州大学 Q-AOS

## 九州帝国大学のアジア調査研究



Key Words

九州帝国大学

アジア

フィールドワーク

藤岡 健太郎 教授

大学文書館



1970年に山口県宇部市で生まれました。2003年に九州大学大学院比較社会文化研究科博士後期課程を単位取得満期退学し、その後、博士(比較社会文化)を取得しました。2005年、九州大学大学院人文科学研究院特任助手に採用され、2009年『九州大学百年史』編纂のため大学文書館に百年史編集室が設置されると同時に准教授として着任しました。2017年に『九州大学百年史』編纂事業が終了後、大学文書館の准教授を経て、2020年に同副館長・教授となり、現在に至っています。研究テーマはもともとは近代日本思想史でしたが、現在はアーカイブズ学や大学史を主な研究テーマとしています。

九州大学では、特にアジア地域との国際交流がますます盛んになってきていますが、こうした活動は九州帝国大学の時代から行われていたものです。それでは、現在ほど交通が発達していなかった時代に、どのような「国際交流」が行われていたのでしょうか。このセミナーでは、九州帝国大学の教官たちの、アジア地域での調査研究活動に注目し、戦前・戦中期の「国際交流」のあり方を紹介します。まず、どの分野の教官が、どの地域に、どれぐらい渡航していたのか、数量的に明らかにします。その上で、幾人か事例を挙げて、具体的にどのような調査研究活動を行っていたのか、紹介していきます。